

第3章 商業振興の目標

第3章 商業振興の目標

3. 1 商業振興の目的

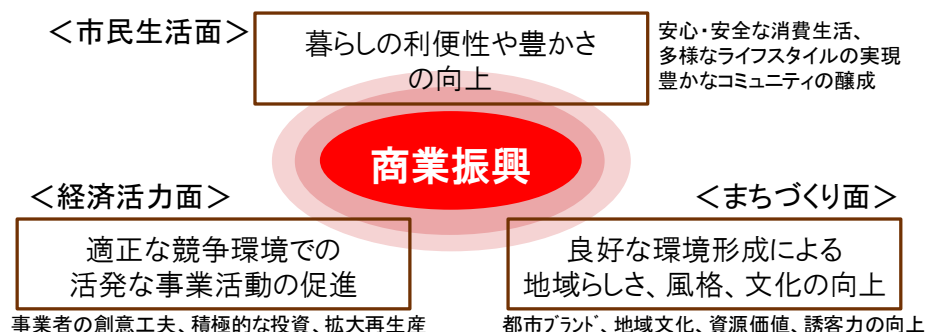
「静岡市商業の振興に関する条例」を踏まえ、商業を振興することによる社会的意義、すなわち「目的」をここで確認する。

商業は、日常の安心・安全なお買物から豊かなライフスタイルを実現するための高質・多様な消費ニーズを支える機能として市民生活にとって欠かすことのできない社会インフラであると同時に、地域経済活力の観点では、本市の主要産業であることから活力向上のけん引役として重要な役割を持つものである。

さらに商業は、まちづくりの観点において、その地域の暮らしぶりを映し出し、歴史、文化、交流といった「地域らしさ」を守り、育てる、都市全体又は地域の環境形成の重要な要素の1つであると言える。

このような、「市民生活面」、「経済活力面」、「まちづくり面」といった側面から商業を捉え、それぞれの側面において望ましい状態を実現していくことが、商業振興の目的である。

図表一 商業振興の目的



「静岡市商業の振興に関する条例」においては、商業振興の基本理念として、「豊かな市民生活、地域経済の活性化、良好な地域社会の形成を基本として、市民生活の向上と地域社会の持続的発展に寄与することを目指すもの」とすることが示されている。

その上で、その推進にあたっては、直接的な担い手である事業者等の他、その連携体である商店街団体、それらの支援を行う地域経済団体や市、さらに、まちづくりの主役である市民が、役割分担のもと協力して行うものとされている。

【静岡市商業の振興に関する条例（抜粋）】

（基本理念）

第3条 商業の振興は、商業者等、商店街団体、地域経済団体、市民及び市が、まちづくりにおいて商業が果たす役割の重要性を認識し、次に掲げる事項を基本として、市民生活の向上及び地域社会の持続的な発展に寄与することを目指すものとする。

（1）市民の生活の利便性を維持向上するとともに、良質で多様な商品及び役務が提供されることにより、豊かな市民生活が営まれること。

（2）商業者等による事業活動が充実して商業が発展することにより、新たな投資や雇用が創出され、地域経済が活性化すること。

（3）市が目指すまちの姿にふさわしい良好な商業環境が形成されることにより、市民が、心豊かに、かつ、快適に暮らすことができる良好な地域社会が形成されること。

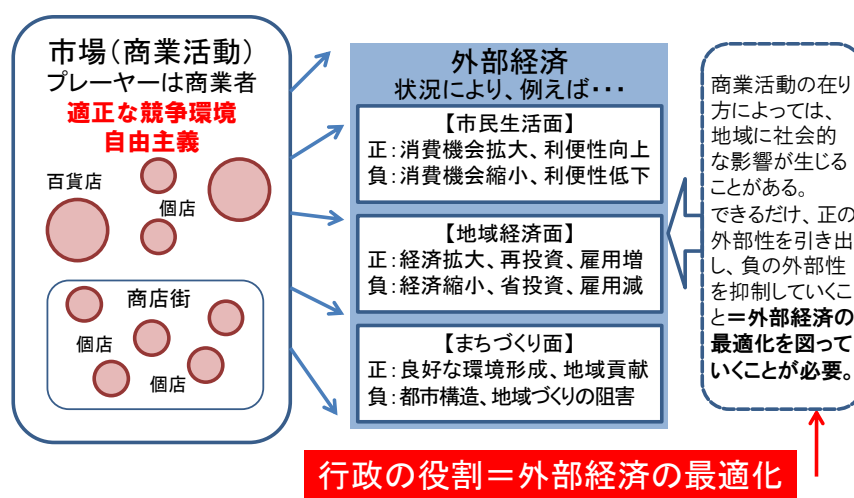
2 商業の振興は、商業が市民生活の向上及び地域社会の発展に果たしてきた役割を尊重するとともに、社会経済情勢の変化に対応して、進んで変革に努めることにより推進するものとする。

3 商業の振興は、商業者等、商店街団体、地域経済団体、市民及び市が、それぞれ自らの果たすべき役割及び責務を自覚して、自主性を相互に尊重しながら、協力し合い、又は補完し合って推進するものとする。

なお、商業は、市場における民間事業者の経済活動であることから、自由かつ適正な競争環境の中で行われることが原則であり、消費者の利益のためにもこの原則が遵守されることが必要である。

このため、行政は、あくまで経済活動によって生じる社会的な影響、いわゆる経済の外部性に対応し、最適化を図っていく観点から商業活動に関与するものであり、その振興により全体の利益向上を目指すものである。

図表一商業活動に対する行政の関与の在り方（イメージ）



3. 2 商業振興の目標

商業振興の「目的」を踏まえ、本市が10年後に目指す商業の姿として、「目標」を次のように掲げる。

【商業振興の目標】

市民に寄り添い、地域を豊かにする商業の実現 文化、交流を創造し、都市力を高める商業の実現

○市民に寄り添い、地域を豊かにする商業の実現

- ・市民や利用者にとって、商業の最も基本的な役割である生活の利便と安全・安心を支える機能を確保しつつ、商業の場を通じた地域における絆づくりやコミュニティ醸成の機能の構築を目指すことにより、市民、地域にとって望まれる商業機能の実現を目指す。

○文化、交流を創造し、都市力を高める商業の実現

- ・市民や利用者にとって、豊かなライフスタイルが実現されるよう、多様で質の高い消費価値を提案し、新しい文化や交流を創造していく機能を発揮するとともに、都市全体のブランド力、地域経済活力をけん引していく機能の実現を目指す。